岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 37

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	総合実習	単位数	2	学年・学科	3学年・A科
教科書			副教材				

学習目標	畜産に関する実践的・体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を順序だてて習得できるようにして、経営や管理、およびその活用について理解を深め、企画力や管理能力、活用技術などを身に付けて、農業の各分野の改善に向けて取り組むことができるようにします。
学習方法	○大動物・中小動物・愛玩動物の領域をローテーションで学びます。 ○搾乳実習を通して実践的な力を身につけます。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、畜産の意義や役割を理解するとともに、畜産に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	b	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	0%	100%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	(1)飼育に関する学習 ①大動物 ②中小動物（ヒツジ・ブタ・ニワトリ） ③愛玩動物（ウサギ、イヌ） (2)農業クラブ活動に関する学習	・それぞれの動物の飼育・衛生管理の方法を学ぶ。 ・それぞれの動物の健康管理について学ぶ。 ・搾乳の方法を学ぶ。 ・畜産物の活用方法について学ぶ。 ・意見発表会 ・事業委員会活動、農業クラブ総会 ・農業鑑定競技①	○ ○	○ ○	○ ○	a：動物の飼育について基礎的・基本的な知識を身につけその意義や役割を理解できる。動物の飼育について基礎的・基本的な技術を身に付け適切に活用できる。 b：動物の飼育管理について思考を深めることができる。 c：動物の飼育管理について興味・関心を持ち、生理・生態について理解できる。	・学習態度 ・学習記録 ・意見発表原稿 ・農業鑑定競技①
前期末	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ (2)農業クラブ活動に関する学習	・前期中間に同じ ・農業クラブ県連盟大会家畜審査競技運営	○ ○	○ ○	○ ○		・学習態度 ・学習記録
後期中間	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ (2)農業クラブ活動に関する学習	・前期中間に同じ ・収穫感謝祭 ・畜霊祭	○ ○	○ ○	○ ○	a：実際の畜産現場の見学をとおして、畜産の現状や地域の課題について理解できる。畜産物の利用について理解し、活用できる。 c：農業クラブの学習に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 a：農業クラブ活動を通じて、地域の課題を理解できる。 b：農業クラブ学習において、地域の諸課題に対する自身の考えを述べることができる。	・学習態度 ・学習記録
後期末	(1)飼育に関する学習 前期中間に同じ (2)農業クラブ活動に関する学習	・前期中間に同じ ・プロジェクト発表会 ・農業クラブ総会（後期） ・農業鑑定競技②	○ ○	○ ○	○ ○		・学習態度 ・学習記録 ・プロジェクト発表審査用紙